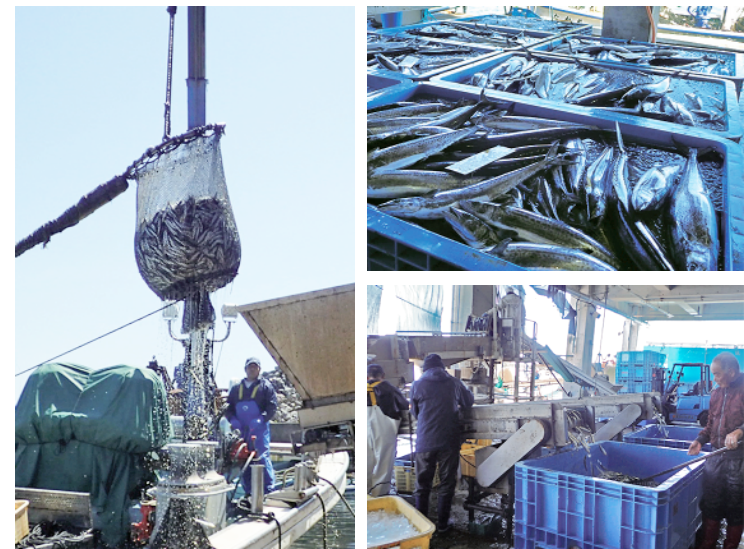


「まなづる海の月報」は、町立遠藤貝類博物館が2018年8月から発行している地域の海のニュースです。昨年度までは船の科学館「海の学びミュージアムサポート」の助成により発行させていただいていましたが、今年度より、真鶴町の事業として、取材・執筆・編集を特定非営利活動法人ディスカバーブルーに委託して実施することになりました。発行にあたっては、真鶴町漁業協同組合、岩漁業協同組合(岩ダイビングセンター)、横浜国立大学大学院 環境情報研究院附属臨海環境センター、真鶴の海で活動している多くの皆さまにご協力いただいています。海の月報は、過去の巻号も含め、町立遠藤貝類博物館ホームページからダウンロードいただけます。プリントアウトしてお近くで掲示していただくのも大歓迎です。ご協力のほどよろしくお願いたします。なお、毎月の海の情報を翌月の回覧板でお届けします。

### 真鶴の漁獲情報

## 大漁続き、魚種も冬から春へ



イワシの水揚げ(左)、魚市場にズラリと並ぶサワラ(右上)、大漁にぎわう真鶴魚市場(4月14日撮影)

春になり、真鶴魚市場に水揚げされる魚は種類、量とも多くなってきました。漁獲量が減る冬が終わり、盛漁期に入った真鶴の海では定置網での大漁が続きました。

4月の初め頃は、アンコウやスルメイカなどの冬の旬とブリが多く水揚げされていましたが、徐々にブリに代わってワラサ(成長途上のブリ)が増え、さらに、サワラを中心とした春らしい魚種へと移ってきています。また、春といえば海藻がおいしい季節でもあります。例年に比べて付きがよくないと思われたワカメも、4月に入り水揚げされてきているようです。港や磯でもワカメが波に揺られる様子を目にするようになりました。

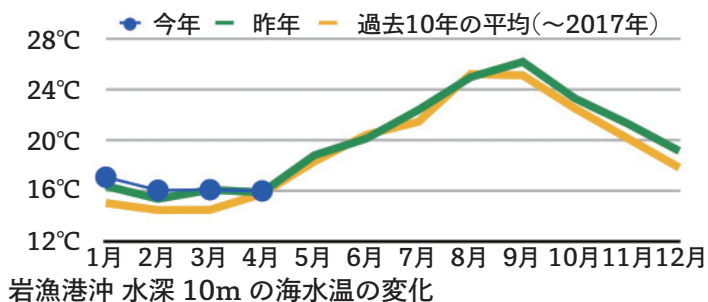
4月14日は、真鶴町漁協の定置網でサワラとイワシが大漁でした。小田原や真鶴の岩など近隣にも定置網がありますが、獲れる魚種が異なるそうで、小田原、岩でブリが入り、サワラが多く入ったのは真鶴だけだったとのこと。例年なら、高値で取引されるところですが、コロナウイルス感染防止による飲食店や旅館の休業で需要が減り、値段が下がってしまっているそうです。真鶴漁協の職員さんも「せっかく獲れた魚なのに残念」とのことでした。その影響で、店頭ではお魚が手に入りやすくなっていることもあります。お買い物の際は、ぜひ、鮮魚コーナーで真鶴産の旬の魚をチェックしてみてください。(情報提供:真鶴町漁協)

### 真鶴の海況

## 海水温、今シーズンの最低値

横浜国立大学が行う真鶴岩沖の調査で得られたデータを提供いただき、水深10mの水温について毎月の変化を確認しています。今月の水温は、3月より0.1℃下がり、昨年3月からの一年間のうち、もっとも低い水温となりました。年間の海水温の変化は、9月でももっとも高く、2~3月でもっとも低くなりますが、今年は、やや遅れ

ての変化となりました。また前月までは、過去10年の平均水温より高く、暖冬傾向でしたが、今月に入り、平年並みとなりました。(情報提供:横浜国大 臨海環境センター)



### トピック まなづるの海

## 生き物いっぱい、にぎやかな春の磯



海藻に覆われて一面緑色の三ツ石海岸(左)、潮だまりで海藻を食べるアマクサアメフラシ(右)と卵(右下)

春になり海藻が増えると、それを食べる生物やすみかとする生物が集まってきます。潮が引いた磯では、潮だまりや石の下にカニやナマコ、巻貝などたくさんの生物を見つけることができ、磯遊びをするには楽しい季節です。この季節にご紹介したいのはアメフラシの仲間です。ゆっくりとした動きと体の柔らかさに加え、紫色の液だけではなく、種類によっては白色の液を出すこともあり、磯の生物観察会でも人気の生物です。真鶴の磯では12月ごろから現れて海藻を食べて過ごしています。卵の塊は、黄色やオレンジ色のインスタントラーメンのようで「海そうめん」と呼ばれています。夏になると姿が見えなくなる、季節限定の生物です。

### 町立遠藤貝類博物館 5~6月のイベントスケジュール

町立遠藤貝類博物館は、緊急事態宣言を受け休館中です(5/1現在)。開館およびイベントの開催についての最新の情報は、ホームページにてご確認ください。

- 5月24日(日) 海のミュージアム「磯の生物観察会/海の自然実感教室」  
三ツ石海岸・町立遠藤貝類博物館【有料、要予約】
- 6月7日(日) 海のミュージアム「磯の生物観察会/海の自然実感教室」  
三ツ石海岸・町立遠藤貝類博物館【有料、要予約】
- 6月20日(土) 海のミュージアム「磯の生物観察会/海の自然実感教室」  
三ツ石海岸・町立遠藤貝類博物館【有料、要予約】

【開催中】写真展「知られざる 真鶴の海 2020」  
町立遠藤貝類博物館、【要入館料、真鶴・湯河原町民無料】  
※各イベントの詳細は、町立遠藤貝類博物館 HP または各ちらしをご覧ください。

まなづる 海の月報は、町立遠藤貝類博物館 HP からダウンロード  
ができます。プリントしていただいたの掲示・配布歓迎です。